

Today's Mission

①挨拶ほど大切なことはないと思います。「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「ただいま」「おかえり」「いただきます」「ありがとう」「おやすみ」… 日頃、挨拶はできていますか？②挨拶をすることは当たり前だと言われていますが、その意味を考えたことはありますか？短い言葉ですが、そこにはとても深く、温かい意味が込められています。

「今日も1日よろしくおねがいします（相手に心を開く）」「今日も無事家に帰ってきたよ（無事を報告する）」「あなたのおかげで助かりました（感謝を示す）」「今日もお疲れ様でした（自分を、そして相手を労う姿勢）」「明日からも頑張ろう（明日へと向かう）」…。挨拶があるとないとでは、相手に与える印象は各段に違ってきます。“当たり前”な行為だからこそ、尊い行為なのです。これほど短い言葉で自分も相手も温かい気持ちにしてくれるものは、他にはないのではないのでしょうか。

【3-1 担任のつぶやき】

①は、比較級を用いて表せそうですね。②は、「～だと言われている」「～したことはありますか？」という表現方法が何だったかを考えてみると取り組みやすいですよ。挨拶励行！

答えの投稿は、下記のアドレスまで！休校期間中の課題の質問も受け付け中！

徒然なるままに…

昨年、図書委員会の生徒から“読書”を中心として、本に関わるインタビューを受ける機会がありました。図書室の入り口前にも掲示されていますね。発行当時、他の先生方のインタビューの内容も興味深く読ませていただいたのを今でも覚えています。

一言に“読書”といっても、これは大変深い営みだと感じます。“本を読む”という営みを通して、“本と出会い”“言葉に出会い”“共感する機会に出会い”“考える機会に出会い”“人生を変える機会に出会い”… 実に様々な出会いに巡り合うことが出来ます。振り返ってみれば、“過去に出会った本が、今の自分（これからの自分）に大きく影響した”ということもあるのではないのでしょうか。しかも、“自分が読みたいと思って出会った本”、“読みたいと思っていなかったが、偶然出会った本”、“他者に薦められて出会った本”等、本との出会いの形も様々なんですよね。

“読書”から少し離れますが、以前、『徒然なるままに…』のコーナーで、本との出会いについて書いたことがあります。本と出会うためには、本がある環境（書店、図書館、etc）に足を運ぶのが一番の近道。“レビューを観て、実際に手を取って読みたくなった”ということで、通販で購入することも容易ですが、“偶然の出会い”の機会は失われます。案外、“こんな本があったんだ”という発見は面白いものですよ。

前にも書いた通り、今はそういうところに足を運ぶことは難しい状況ですが、落ち着いたとき、本との出会いを求める機会を作ってみてはいかがでしょうか？

35 回生投稿窓口・35 回生質問受付窓口 takatsuka2019@gmail.com

（件名に、学年、組、番号、名前、用件を必ず書いて送信。：気の向くままに vol.0 参照）
（投稿・質問以外のメールは固くお断りします。休校期間が終了次第、本メールは閉鎖します）

気の向くままに… ～英語で表現コーナー～ vol.12 へ続く

編集 35 回生学年団 3-1 K.M

